



はっかくこうじ 議員
れいわ 八角公二

成東駅北側の道路整備について

問 成東駅北側の道路整備の事業化は、市長が公約に掲げていますが、現在の考え方を伺います。

答 市長 この整備は、地域や成東駅周辺の利便性の向上のみならず、その整備が進むにつれて、山武市全体の発展に寄与するものです。

地域の皆さまの理解を得ながら、事業化に向けて着実に進めていきたいと考えています。

問 令和2年2月に開催した説明会以来、何も音沙汰がなく、時間だけが経過していますが、このような状況について、市長の見解を伺います。

答 市長 かつて大規模開発の話がありました。現在も実現には至っていませんが、地元が皆さまが懸念されていることも承知しています。時間はかかっていますが、この整備の事業化は、将

来の成東駅北側のまちづくりにつながるものですので、しっかりと整えながら、今後丁寧に説明したいと考えています。

問 和田地先から津辺住還橋まで、既存の市道を拡幅して事業化すると聞いていますが、その後の進捗状況を伺います。

答 都市整備課長 道路計画のルート上や隣接地には、市以外の施設管理者があり、制約条件が厳しいこと、また、駅前としての将来のまちづくりの想定を踏まえた協議も合わせて必要であるため、現在も事業化に向けて、関係機関と協議中であります。

問 現段階で、道路整備の事業化はいつ頃を想定しているのか伺います。

答 都市整備課長 令和5年度から予定している都市計画道路の変更手続きに約1年、その後に行う、道路の実設計や国庫補助金交付のための事業計画作成および関連事業に約2年を要すると考えています。



森林整備について

問 市内の林道整備状況を伺います。

答 産業振興部長 現在、林道台帳に掲載されている路線名および延長は、湯坂が1200メートル、真行寺が1205メートル、和田が1580メートル、姫島根蔵が2043・5メートルの4路線です。

問 市長就任後の所信表明で掲げた「サンブスギのブランド化」のためには、サンブスギが育つ健全な森づくり、かつ、伐採および搬出のための道路整備が必要不可欠であると考えています。

本市は、令和元年の台風被害以降、森林整備を推進していますが、市道を含めた林業に必要な道路の整備について、市長の見解を伺います。

答 市長 人為的に整備する森林については、伐採、植栽および保育を行っていくこととなりますので、そのための道路の整備を含めた森林整備について、森林づくり審議会等で協議しながら、市内森林の管理方針を定めていきたいと考えています。

また、林業の専用道としてだけではなく、一般の方の通行の利便性向上や、森林浴などを楽しむ方のアクセス道路とするなど、多機能を有する道路として、現実的かつ効果的な方法で整備してまいります。

問 副市長には、令和4年8月、市内の森林の現状を見ていただきましたが、森林整備に対する見解を伺います。

答 副市長 市内森林の状況確認をした際、森林整備のなされている箇所と手つかずで放置されている箇所は一目瞭然であり、何よりも、樹木の成長の違いが十分に認知でき、改めて森林整備の重要性を認識したところです。

長い歴史のあるサンブスギのブランドを高めていくためにも、健全な森づくりは大変重要であり、森林整備や道路等の環境整備は計画的に進めていく必要があると考えています。

問 非赤腐性腐朽病による罹患や倒木の影響による傷など、木材としての価値が下がらないように整備し、伐採をすべき森林が多くを占めている現状であり、森林整備は待ったなしの状況です。

時間を要する道路網の検討とは別に、機械搬入や木材搬出のための道路は狭く、雨天の後には車両の通行が困難である現状を改善するための予算措置を提案しますが、市の見解を伺います。

答 市長 森林整備のために必要性のある整備を可能な範囲で実施していきたいと考えています。

令和5年度以降にはなりますが、財源等を確保しながら、可能な範囲で進めていきたいと考えています。